

- 問1 日本の諸地域の自然環境に関する説明のうち、関東地方を流れる利根川の特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本で最も長さが長い河川であり、長野県から新潟県を抜けて日本海へ注いでいる。 | 2. 日本で最も流域面積が広く、その広大な流域は関東地方の1都5県にまたがっている。 | 3. 火山灰が堆積したシラス台地を削りながら流れ、広大なラワンぶきを育んでいる。 | 4. 急勾配な地形を流れるため、日本で最も水力発電の発電量が多い河川として知られる。 |
|---|--|--|--|
- 問2 群馬県の産業やエネルギー事情について述べた文として、統計的な事実と地理的背景に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 東京都に隣接しているため、昼間人口が夜間人口を大きく上回る都市型の産業構造となっている。 | 2. 利根川などの豊富な水資源と地形の起伏を活かし、火力発電よりも水力発電による発電量が圧倒的に多い。 | 3. 広大な平野部をすべて農地としているため、製造品出荷額よりも農業産出額の方が大きくなっている。 | 4. 大規模な臨海工業地帯を有しているため、製造品出荷額における化学工業の割合が全国で最も高い。 |
|---|---|---|--|
- 問3 ある統計資料において、都心部の地価が非常に高水準で推移しているのに対し、郊外の地価は低く抑えられており、それに伴って郊外の人口が増加している傾向が見られました。この現象の背景にある仕組みとして正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---------------------------------------|
| 1. 郊外は都心部に比べて交通の利便性が悪いため、土地の価格が下落し人口が減少するため。 | 2. 都心部の地価が高騰することで、企業のオフィスがすべて郊外に移転し、職住接近が実現したため。 | 3. 地価が高い地域ほど生活環境が良好であるため、人々が無理をしてでも都心部に移住するため。 | 4. 住宅購入費用を抑えたい人々が、地価の安い郊外を選択して居住するため。 |
|--|--|--|---------------------------------------|
- 問4 関東平野の台地に広がる関東ロームの層において、古くから稲作よりも野菜などの畑作が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 海岸近くの砂地が隆起した土壌で、塩分を多く含んでいるため稲の生育が妨げられる。 | 2. 火山灰が堆積してきた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。 | 3. 河川が運んだ泥でできた粘土質の土壌で、水持ちが良すぎて稲の根が腐りやすい。 | 4. 有機物を多く含んだ黒い土壌で、地力が強すぎて稲の茎ばかりが成長してしまう。 |
|--|---|--|--|
- 問5 栃木県の地形と冬の気候の特色を述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。なお、栃木県内には渡良瀬川や鬼怒川が流れ、北西部には標高の高い山地が連なっているものとします。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 冬には北西の山地側から「男体おろし」などと呼ばれる乾燥した冷たい季節風が吹き下ろす。 | 2. 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日の降雪が見られる。 | 3. 夏は南東の海側からの季節風の影響を受け、冬に比べて降水量が多く、雷が発生しやすい。 | 4. 冬の日照時間が長いという気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「いちご」の栽培が盛んである。 |
|---|---|--|--|
- 問6 日本の産業統計において、工業出荷額が約13兆円規模であり、印刷業や輸送用機械が一定の割合を占める県の産業構造について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この県は農業も盛んで、米の産出額は新潟県には及ばないものの、長野県などの野菜生産が盛んな県と同様に、高い農業産出額を維持しています。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 内陸部に位置する利点を生かし、輸送用機械の製造に特化しており、農業は東京都への供給を目的とした野菜栽培に限定されている。 | 2. 京葉工業地域の一角を担う工業の発展とともに、都市近郊農業や稲作などの農業がバランスよく発達している。 | 3. 工業出荷額のほとんどを化学工業が占めており、農業は米の単一栽培のみが行われている。 | 4. 印刷業の出荷額が全国1位であり、米の産出額も新潟県を上回って日本最大の農業県となっている。 |
|---|---|--|--|
- 問7 神奈川県の県庁所在地であり、関東地方で最も多い人口を抱える横浜市について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 政令指定都市に指定されており、臨海部の再開発地区である「みなとみらい21」には商業施設や国際会議場が集まっている。 | 2. 中核市に指定されており、江戸時代から続く城下町としての景観を維持するため、臨海部の開発は厳しく制限されている。 | 3. 中核市に指定されており、臨海部では「幕張新都心」と呼ばれる大規模な都市開発が行われ、業務機能が集中している。 | 4. 政令指定都市に指定されており、近年は内陸部の工業団地を「みなとみらい21」として再開発し、先端技術産業を誘致している。 |
|--|--|---|--|
- 問8 関東地方に位置する茨城県の人口動態と構成について述べた次の文のうち、現在の統計データが示す実態と一致するものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 都心へのアクセスが極めて良いため、若年層の転入による社会増が続く、人口増加率がプラスを維持している。 | 2. 少子高齢化の影響により、人口増減率がマイナスを示すなど人口減少が進むとともに、高齢者割合が高まっている。 | 3. 出生率が大幅に上昇したことにより、14歳以下の年少人口の割合が高齢者割合を大きく上回っている。 | 4. 大規模な住宅団地の開発が全域で進んでいるため、生産年齢人口の割合が全国で最も高くなっている。 |
|---|---|--|---|
- 問9 江の島の地形を南側から観察した際の特徴について述べた文として、地形学的観点から最も適切なものはどれですか。なお、島の標高は約60mであり、山頂付近には展望灯台が位置しています。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. 氷河の侵食によって形成された複雑な入り江であるリアス海岸が見られる。 | 2. 火山の噴火によって形成されたカルデラと、その周囲に広がる広大なシラス台地が見られる。 | 3. 強い波の侵食によって形成された海食崖と、その足元に広がる平坦な海食台が見られる。 | 4. 河川の運搬作用によって形成されたV字谷と、その出口に広がる扇状地が見られる。 |
|---------------------------------------|---|---|---|
- 問10 2万5千分の1地形図「鎌倉」を用いて、逗子駅から田越川を渡り、砂浜が広がる逗子海水浴場付近までの地形的な特徴を確認しました。地形図において、海岸線（砂浜）と市街地の境界付近に位置する地点の状況を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市街地、河川、海岸線の三つの要素が非常に短い距離で近接している。 | 2. 土地利用が針葉樹林から果樹園へと変化する緩やかな傾斜地である。 | 3. 大規模な干拓事業によって造られた、海面より低い平坦な農地である。 | 4. 等高線が非常に密になっており、海に面した急峻な崖が続いている。 |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本で最も流域面積が広く、その広大な流域は関東地方の1都5県にまたがっている。	利根川は「流域面積」が日本一の河川であり、群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、東京の広範囲から水を集めています。江戸時代に行われた「利根川東遷」という大規模な治水工事によって、本来は東京湾（江戸湾）へ注いでいた流れを東側の太平洋へと変えた歴史があり、これにより関東平野の新田開発や水害対策が進みました。長さ日本一は信濃川の説明であり、シラス台地は九州地方の特徴です。
問2	答え 2 利根川などの豊富な水資源と地形の起伏を活かし、火力発電よりも水力発電による発電量が圧倒的に多い。	群馬県は「水と緑のキャンプ場」と称されることもあるように、利根川の源流域を含む豊かな水資源に恵まれています。内陸県であるため、燃料の輸入に有利な沿岸部のような大規模な火力発電所が少ない一方で、山地から平地へ流れる水の落差を利用した水力発電が古くから発達してきました。また、製造品出荷額が約7.8兆円と農業産出額（約2,463億円）を大きく上回っている点も重要な特徴です。
問3	答え 4 住宅購入費用を抑えたい人々が、地価の安い郊外を選択して居住するため。	地価と人口移動の間には、家計の経済的な判断が働いています。都心部で地価が高騰すると、同じ予算で確保できる住居の面積が狭くなったり、家賃・ローンの負担が過大になったりします。そこで、都心部と比較して地価が安い郊外に住宅を構えることで、広い住空間や手頃な住居費を確保しようとする動きが強まります。これが郊外における人口増加の直接的な背景です。
問4	答え 2 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。	火山灰からなる関東ロームは粒子が細かく、透水性（水を通す性質）が非常に高いのが特徴です。そのため、地表に水を溜める必要がある稲作には不向きであり、代わりに排水の良さを活かした野菜栽培などの畑作や、果樹園、茶園として広く利用されてきました。
問5	答え 2 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日多くの降雪が見られる。	栃木県の冬の気候は、南東（海側）からではなく、北西（山地側）から吹く乾燥した季節風によって決まります。そのため、冬は雨や雪が少なく乾燥した晴天の日が続くのが一般的です。選択肢にある「いちごの栽培」は、この豊富な日照時間を有効活用した施設園芸農業の代表例です。
問6	答え 2 京葉工業地域の一角を担う工業の発展とともに、都市近郊農業や稲作などの農業がバランスよく発達している。	千葉県は、東京湾沿いの京葉工業地域での鉄鋼・化学・印刷などの重化学工業や製造業が盛んであると同時に、平坦な土地と温暖な気候を利用した農業も非常に盛んです。米の生産だけでなく、キャベツやネギ、落花生などの野菜生産においても全国トップクラスの産出額を誇っており、工業と農業の両輪で経済が成り立っているのが特徴です。
問7	答え 1 政令指定都市に指定されており、臨海部の再開発地区である「みなとみらい21」には商業施設や国際会議場が集まっている。	横浜市は、人口50万人以上の要件を満たし、都市としての規模や能力が認められた「政令指定都市」です。かつて造船所や貨物駅があった臨海部を、都市機能の強化を目的に「みなとみらい21」として再開発し、オフィス・商業・文化施設が集まる新しい中心市街地へと変貌させました。選択肢にある「幕張新都心」は千葉市の再開発地区です。
問8	答え 2 少子高齢化の影響により、人口増減率がマイナスを示すなど人口減少が進むとともに、高齢者割合が高まっている。	茨城県は東京に近い南部など一部の地域を除き、全体としては死亡者数が出生者数を上回る自然減の影響が大きく、人口減少傾向にあります。統計上でも65歳以上の人口が約30パーセントを占めるなど、少子高齢化が顕著に現れているのが特徴です。
問9	答え 3 強い波の侵食によって形成された海食崖と、その足元に広がる平坦な海食台が見られる。	江の島の南側は太平洋の強い波にさらされているため、波の侵食作用（海食）が激しくなります。その結果、山が削られて切り立った「海食崖」ができ、さらにその崖が後退したあとに「海食台」と呼ばれる平坦な岩場が形成されます。これらは海岸付近で見られる典型的な侵食地形です。
問10	答え 1 市街地、河川、海岸線の三つの要素が非常に短い距離で近接している。	逗子駅周辺の地形図では、駅から商店街（市街地）、田越川（河川）、そして逗子海水浴場（海岸線）が南北に連続して配置されています。このように、異なる地理的要素が狭い範囲に集まっているのがこの地域の大きな特徴です。